

Bird-and-Flower Paintings A Symphony of Beauty

美を競う花鳥画



後期 四季草花図屏風(左隻) 伊年印 江戸時代(17世紀)



前期 四季花鳥図屏風(右隻) 狩野探幽筆 寛文6年(1666)

前期

令和8年 8月7日|金|—10月4日|日|

後期

令和8年 10月9日|金|—12月13日|日|

開館時間 || 9時～16時30分(入館は16時まで) 休館日 || 9/21、10/12、11/23以外の月曜日および、10/5～8
主催 || 太宰府天満宮 監修 || 山下善也氏(美術史家・近世絵画史、同志社大学大学院講師)

太宰府天満宮宝物殿 第2・企画展示室

〒818-0117 福岡県太宰府市宰府4-7-1(太宰府天満宮内)

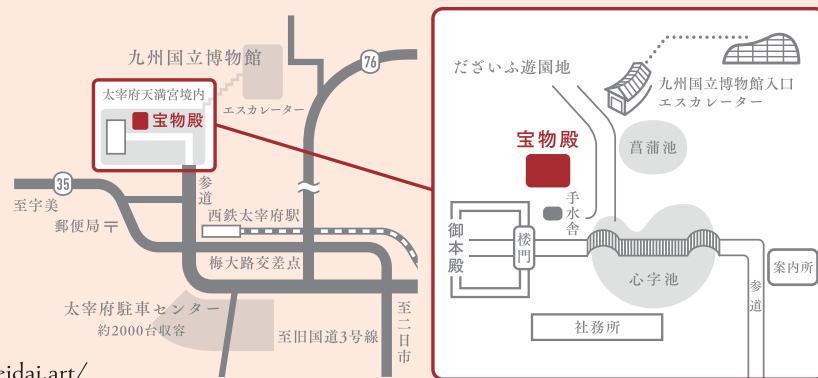
初公開
宗達派・探幽・
省亭・秋聲から
現代まで

交通アクセス ||

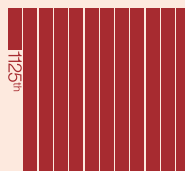
○西鉄太宰府線「太宰府駅」下車徒歩5分
○九州自動車道「太宰府IC」から車で約15分、「筑紫野IC」から車で約20分

入場料	一般	500(400)円	※()内は30名以上の団体料金、 各種手帳提示により付添者1名まで 半額料金
	高大生	200(100)円	
	小中生	100(50)円	

お問い合わせ || TEL 092-922-8551 (9時～16時) 境内美術館ウェブサイト || <https://keidai.art/>



太宰府天満宮



知られざる名品、初公開。

前期

山水花鳥図屏風

狩野山雪筆 江戸時代(17世紀)



後期 夏冬花鳥図屏風 狩野永納 筆 江戸時代(17世紀)

太宰府天満宮は、国宝・重要文化財を含む約11,000点の文化財を収蔵しています。1,100年以上にわたる歴史の中で、文化芸術の神様である御祭神・菅原道真公への祈りとともに、多くの文物や絵画が奉納されてきました。さらに様々なご縁によって新たな作品が加わり、古美術から現代美術まで幅広いコレクションが形づくられています。本展では、その中から、花鳥をはじめとする自然や生きものを描いた日本画を中心に紹介します。俵屋宗達の流れをくむ華やかな作品から、江戸狩野派の礎を築いた狩野探幽、近代花鳥画を代表する渡辺省亭、抒情的な画風で近年再評価が進む小早川秋聲、さらに現代作家による作品まで、バラエティに富んだ絵画表現をご覧ください。

後期

紅梅白梅

沢宏韌・秋野不矩 合筆 昭和10～20年代



前期

牡丹孔雀図

岡本秋暉筆 嘉永6年(1853)



前期

梅の春

川端龍子筆 昭和30～40年代



後期

牡丹に燕

渡辺省亭筆 明治時代後期



後期

四季山水図

山本梅逸筆 嘉永6年(1853)



自然を描く、美の系譜

①「新発見！狩野探幽の花鳥図屏風」

日時 || 9月5日(土)14時～15時半
講師 || 山下善也氏 (美術史家・近世絵画史／本展監修)

②「宗達派の草花図と園芸趣味」

日時 || 11月7日(土)14時～15時半
講師 || 奥平俊六氏 (大阪大学名誉教授)

講座①・②ともに、

参加費 || 無料
定員 || 50名(先着順)
会場 || 講座室(宝物殿地下)

お問い合わせ・お申し込み

太宰府天満宮文化研究所：TEL 092-922-8551 (9時～16時)
上記QRコードからお申し込みください



講座①



講座②

関連講座